

生物学的効果比

生物学的効果比 せいぶつがくてきこうかひ

放射線に被曝した場合に同じ吸収線量であっても、放射線の種類、エネルギーの違いにより生物に及ぼす効果に量的な差がある。その違いを比で表したものが生物学的効果比（R B E）である。通常、対象とする放射線と基準放射線とが生体に等しい変化を与えるときに、前者の吸収線量を後者の吸収線量で割って得られる値であらわす。基準の放射線としてはX線または γ 線が用いられる。線量当量（放射線の生物学的な影響を計算するための量）の算出に用いられる線質係数は、確率的影響に対するR B Eにほぼ等しい。この場合のR B Eはx、 γ 、 β 線は1、エネルギー2 M e v以上の陽子は5、 α 線は20、中性子はエネルギーにより5～20とされている。

<登録年月>

1998年01月
